

感染状況・医療提供体制の分析(11月2日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (10月26日時点)	現在の数値 (11月2日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	4330人 (230.7人)	4793人 (255.4人)	→
		60歳以上 (総数に占める割合)	603人 (14%)	704人 (15%)	→
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	1736人	1951人	→
		倉敷市保健所	953人	1131人	→
		備前保健所	393人	442人	→
		備中保健所	424人	541人	→
		備北保健所	224人	176人	→
		真庭保健所	280人	140人	→
		美作保健所	293人	300人	→
		その他	127人	112人	→
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	88人 (14%)	86人 (14%)	→	医療提供体制コメント
	④宿泊療養者数	42人	49人	→	入院患者数や宿泊療養者数は大きく変わらず。医療提供体制への負荷は緩和。
	⑤自宅療養者数	4110人	4350人	→	
	⑥重症者数	2人	4人	→	

レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要

新規陽性者は人口10万人当たり255人と微増。10歳未満の感染が減り、60歳代以上での感染がやや増加している。新規陽性者数は下げ止まり。社会経済活動も活発になってきており、今後も横ばい、または増加傾向が続く事が予想される。基本的感染防止策の継続とオミクロン株対応ワクチン接種が求められる。同時流行が予想される季節性インフルエンザのワクチン接種も必要。

レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる